

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	福井県の主要河川におけるポリオキシエチレンアルキルエーテルの実態調査
発表学会名	第 38 回全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部研究会
発表者名	大野木 卓（環境部）
開催場所	堺市総合福祉会館（大阪府堺市）
発表日時	令和 6 年 1 月 25 日（木） 15：10～15：25
発表内容	<p>ポリオキシエチレンアルキルエーテル（以下、「AE」という）は界面活性剤であり、洗剤や乳化剤、分散剤等として用いられている。AE は、環境省により詳細な評価を行う候補物質とされている。一方、県内の河川における AE の実態は把握されていない。そこで、県内の主要河川で実態調査を行った。</p> <p>県内の主要な 29 河川 34 地点を対象に四季に各 1 回調査を実施したところ、すべての地点で AE が検出されたことから、県内に広く発生源が分布していると推察された。また、調査地点間で季節変動や降水量との対応に共通性がみられなかったことから、各地域の発生源の違いが影響している可能性が推察された。また、追加調査を行った地域では生活排水が寄与していることが推察された。</p> <p>今後、AE 濃度や組成比などの測定結果から、各地の発生源の地域特性を明らかにしていきたい。</p>